

県央圏域重点取組方針進行管理表

重点課題2	救急医療
-------	------

I 施策の展開

	目標(数値目標)	目標(値) 【平成29年度】	実績数値又は施策の進捗 状況(実績)【平成24年】
1	救急患者の收容時間を管内3消防本部とも県平均より短くします。 (H23)県平均 40.5分 三条市消防本部 41.5分 加茂地域消防本部 48.6分 燕・弥彦総合事務組合消防本部 46.8分		県平均 41.8分 三条市消防本部 43.3分 加茂地域消防本部 50.2分 燕・弥彦総合事務組合消防本部 46.4分
2	病院群輪番制の診療時間帯の拡充及び二次救急医療体制の充実を促進します。		医師会・救急告示病院・市町村の同意を得て、病院群輪番制の土曜日拡充を図ることができた。
3	軽症救急搬送患者の割合を減らします。 (H23:44.0%)	40%	45.9%

施策 (県)	<ol style="list-style-type: none"> 1 救命率の向上及び救急患者の搬送時間の短縮 県央基幹病院基本構想策定委員会を設置し、今後の県央医療圏の医療提供体制のあり方、県央基幹病院の基本的な機能等について検討が進められている。 2 病院群輪番制の診療時間帯の拡充 県央地域救急医療連絡協議会及び県央地域救急医療連絡協議会作業部会において協議を重ねた。 3 住民への普及啓発 <ol style="list-style-type: none"> ①救急医療及び救急車の適正利用のお願い、救急車を呼んでほしい症状などを記載した住民向けリーフレットを管内市町村に配布した。 ②地域住民自らが県央地域の初期救急・二次救急について考えてもらうことを目的としてシンポジウムを開催した。
-----------	--

II 評価等

施策に対する 分析・評価	<ol style="list-style-type: none"> 1 基本構想策定委員会での検討結果をまとめた「県央基幹病院基本構想」が策定された。 2 平成26年度から県央医師会応急診療所の土曜日午後の診療時間の拡充及び病院群輪番制の土曜日昼間の拡充により、初期・二次救急医療体制が充実・強化されることになった。 3 平成24年度に引き続き、救急医療の適正利用について普及啓発を行ったが、軽症救急搬送患者の減少にはつながっていない。
-----------------	--

課題	<ol style="list-style-type: none"> 1 県央基幹病院の設立に向けた具体的な検討を進めるとともに、ドクターヘリの効果的な運用を図ることで救命率の向上を図る必要がある。 2 二次救急医療体制の更なる充実に向け、救急医療機関の機能分担と連携についての検討、病院群輪番制の検証を関係者で行う必要がある。 3 医療機関や住民と協力して、医療という限られた資源を大切に使う意識を醸成していく必要がある。
----	---

今後の対応	<ol style="list-style-type: none"> 1 ドクターヘリの効果的な運用について、関係者で検討を進める。 2 医療機関の機能分担と連携及び二次診療について関係者で検討を進める。 3 小規模な単位で、住民に対するきめ細やかな普及啓発を行う。
-------	--